

3月13日(日) 公開
トークイベントに参加!!

県教委事務局美術館整備局 梅田雅彦局長に聞く

倉吉未来中心に拠点を置く鳥取県教育委員会事務局美術館整備局の、梅田雅彦局長(57)に期待や展望を聞いた。――ようやく着工した。「新しい一歩が進み、とてもワクワクしている。年度内は基礎工事を中心で、しばらく建物の形は見えてこないが、今夏辺りから少しずつ姿が見え始める。それに合わせて県民や地元機関も高まっていくだろう。建物が完成するのは2年後。その後1年間の準備期間を経てオープン。3年後になるが、あっといふ間だ」

通過型にならない仕掛けを

「ハード面と並行して、どのような中身にしていくかというソフト面の検討も加速し

ていく。常設展には県ゆかりの美術作品を中心に展示する計画だが、毎日訪れても新しい発見がある美術館に向けて、企画展や参加型イベントなど多彩な運営にも期待したい。今後も、県民の声を聞きながら決めていくことになる」

――「ハード面と並行して、どのような中身にしていくかというソフト面の検討も加速し

ていく。常設展には県ゆかりの美術作品を中心に展示する計画だが、毎日訪れても新しい発見がある美術館に向けて、企画展や参加型イベントなど多彩な運営にも期待したい。今後も、県民の声を聞きながら決めていくことになる」



県立美術館に期待を寄せる
梅田局長＝倉吉未来中心

県立美術館 ついに着工



佐伯応援団長

県立美術館が着工し、3年後の開館がよいよ見えてきました。

カウントダウン企画の第一弾として、県美パートナーズ株式会社主催のトークイベントが

3月13日(予定)に web 開催されます。

「みんなでつくろう! 県立美術館のある未来」をテーマに、県の補助を受けて活動している8団体が参加し、活動の状況報告や美術館への期待などを発表するそうです。対話会や夢アンケートに寄せられた県民意見の中間発表も予定されています。

発言の様子など web 画像が広く一般の視聴者に公開されるようで、私には極めてドキドキものです。とっとり県美応援団の皆様の熱い思いを十分伝えることができるかどうか。

頑張って参加してまいります。



=お知らせ=

環境チーム 活動のまとめ会

日時: 3月5日(土)
14:00~15:30
場所: 上灘コミュニティセンター
内容: 活動の反省と活動計画の作成

3月役員会

日時: 3月6日(日)
14:00~16:00
場所: 上灘コミュニティセンター

日本海新聞 令和四年
一月二十九日掲載



鉄筋コンクリート造り3階建ての鳥取県立美術館。立体的回遊性を意識した建物は2階に常設展示室、3階に企画展示室を構え、ゆったりとくつろげる1階の「ひろま」に県民

毎日楽しめる空間目指して



ギャラリやグッズショップ、カフェなどを配置。砂丘をイメージした天井には県産木材をふんだんに使い、温かみを演出する。各階には無料入場できるエリアがあり、3階の展望テラスからは美術館に隣接する国指定史跡・大御堂廃寺跡も見下ろせる。その他、創作テラスやキッズスペースなども設け、鑑賞だけでなくとまらない機能的な美術館になりそうだ。

また、隣接する倉吉市立図書館や倉吉未来中心との動線は、屋根付きの通路を延ばして利便性を確保。散歩コースとしても楽しい空間を提供する。

コンセプトは「とっとりの未来をつくる」で、集客目標は年間18万人。「毎日来ても楽しい」「何かと出会える」美術館として、年間1千以上のプログラムを実施する計画も練っている。

(池田悠平)

集客目標は年間18万人